

担当者	高橋るみ子
題目	舞踊とは何か、表現とは何かーを考える
学期	2025年度 第4クォーター (12/3-2/4)
曜日・時間	水曜日・15:30～
授業形式	対面
科目の概要	
<p>開かれた国際交流の中で、各種の舞踊は急速に人々に広まり、現代は“舞踊の時代”と称されるほど多様化し、社会にあふれる存在となっている。本講義では、performance=人間存在そのものを投じて行う「生」の表現形式として舞踊を捉え、その意味と可能性を現代的課題として再考する。あわせて、「クリエイティブエイジング（アートと共に豊かに歳を重ねていく）」の視点から、年齢や経験を問わず表現する喜びを育み、人生の後半における学びや自己表現の意義についても探求していく。</p>	
学習目標	
<ol style="list-style-type: none"> (1) 自分を輝かせる (2) 他者を輝かせる (3) 感動の表現の世界を拓く 	
授業計画	
第1回	からだは毎日語りかけている (オリエンテーション)
第2回	からだは動きをかくしもっている
第3回	からだは感情をかくしもっている
第4回	からだところこの不思議な関係
第5回	イメージと動き (動きの単語)
第6回	イメージと動き (動きの語句)
第7回	イメージと動き (動きの文章)
第8回	語るからだ 語る動き 感じあう表現
主な対象者	いきいきとした身体表現の楽しみを、生涯の学びや創造の営みとして捉えたいと考える市民一般。特に、年齢を問わず身体表現に関心のある方に推奨。
テキスト	なし
参考書・資料	松本千代栄著『こどもと教師とでひらく「表現の世界」』 (大修館書店)
キーワード	パーソナリティの行動表明 クリエイティブエイジング
備考	毎回、体を語らせる活動 (簡単な運動) を体験します。